

石垣市明石「明石集落」

集落
部門

農休日で創るふるさとづくり (平成18年度認定)



石垣島の北部に位置する明石地区は、沖縄本島からの開拓移民として入植し、今年51周年を迎える集落である。開拓当初はマラリアや台風、干ばつなどの大きな被害を受けたが、「地の利は人の和に如かず」の協力の精神を守ることにより乗り越えてきた。

毎月第4日曜日を農休日として定め、美化活動とレクリエーション活動を39年間も継続しており、午前中は区民総出で清掃美化活動をした後、グランドゴルフを楽しみ、夕方はプガリノシをして親睦を深めるなど、「農休日で創るふるさとづくり」に励んでいる。平成17年度には、公民館で用地を買収し「明石ふるさと花園」を造成するなど、農村風景の維持に積極的に取り組んでいる。

平成6年には地区内で収穫した無農薬・減農薬の野菜・果樹類を販売する直売所を開設している。安価であり、素朴な直売所の佇まいから、訪れる人が後を絶たない。

区全体で交通安全活動にも力を入れており、学校、PTA、駐在警官の連携による自転車の交通安全運転活動が活発であり、小学校には専用の練習場も設けられている。また、50年の歴史を持つエイサーを継続しているなど、現在でも協力の精神のもと、数々の素晴らしい集落活動を継続している。

6月の「土壌保全の日」には緑肥としてひまわりを播種し、素晴らしい農村景観を醸し出すことにより、都市との交流にも積極的に努めている。

